

ブルースカイエナジー、低圧太陽光発電所の FIP 制度移行に向けた事業性検証プロジェクトを開始

低圧太陽光の「FIP 転+蓄電池」事業性検証プロジェクトに Tensor 採用決定

ブルースカイエナジー株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:上原 美樹、以下「当社」)は、株式会社リミックスポイント(証券コード:3825、本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:高橋 由彦、以下「リミックスポイント」)および同社子会社である株式会社シールエンジニアリングと共同で、FIP 制度下における低圧太陽光発電所の最適運用を通じた事業性検証プロジェクト(以下「本検証プロジェクト」)を開始することをお知らせいたします。

本プロジェクトでは、Tensor Energy 株式会社(本社:福岡市中央区)が提供する再生可能エネルギー発電事業プラットフォーム「Tensor Cloud」をアグリゲーション運用システムとして採用し、当社が保有する鹿児島県志布志市の低圧太陽光発電所 10 区画において、蓄電システムの併設と FIT 制度から FIP 制度への移行を見据えた運用の最適化を図ります。

 **RP** · Remixpoint

 **SE** · Seal Engineering

 **BLUE SKY ENERGY**

□ 本検証プロジェクトの目的

事業用太陽光発電の導入件数において、低圧発電所は全体の 9 割を占める大きな市場規模を持つ一方、発電効率や手続き面の負担から採算性に課題があり、参入障壁の高い事業環境となっています。

本検証は、FIT 制度から FIP 制度移行を見据えた協業の第一号プロジェクトとして、

当社およびリミックスポイントが保有する低圧太陽光発電所に蓄電システムを併設し、Tensor Cloud が提供するアグリゲーション運用システムを用いて、発電・蓄電・売電を含むシステム全体の運用最適化を図るもので。これによる収益向上と、低圧アグリゲーションの事業性確立を検証することを目的としています。

当社が培ってきた太陽光発電所の運営・保守実績と、リミックスポイントが推進するFIP 発電事業の拡大、そして Tensor Energy の高度な専門性とテクノロジーを組み合わせることで、低圧太陽光発電事業の新たな可能性を切り拓きます。

※FIP 制度:再生可能エネルギー発電事業者が JEPX 等の卸電力市場に電力を売電する際、売電価格に一定の補助額(プレミアム)を上乗せする制度

※FIT 制度:再生可能エネルギーで発電した電力を、電力会社が一定期間、固定価格で買い取ることを国が約束する制度

※アグリゲーション:自家発電設備・蓄電システムなどの分散型エネルギー資源を遠隔制御することで電力を束ねる事業

□ 本検証プロジェクトの概要

当社が保有する鹿児島県志布志市の低圧太陽光発電所 10 区画と、リミックスポイントが保有する熊本県菊池市の 10 区画を対象に、FIT 制度から FIP 制度への移行を見据えた運用を、リミックスポイントがアグリゲーターとして行います。運用は Tensor Energy が提供する Tensor Cloud を用いて行います。

【役割】

- ・リミックスポイント：最適な蓄電システムの設計・提案・導入
- ・シールエンジニアリング：太陽光発電所および蓄電システムの運用最適化（アグリゲーション）
- ・Tensor Energy：アグリゲーション運用システムとして、最先端のAIとデジタル技術を駆使した「Tensor Cloud」を提供
- ・ブルースカイエナジー：太陽光発電設備の改修および運営・管理

【リュミエ菊池発電所（リミックスポイント保有）】

所在地	熊本県菊池市
発電出力	約500kW（1区画当たり低圧49.5kW）
年間想定発電量	約594,000kWh（※10区画）
主な追加設備	蓄電池（定格容量）約2,090kWh（1区画当たり約209kWh）
移行スケジュール	<ul style="list-style-type: none">蓄電システム増設などの設置工事開始（2026年春頃）FIP制度への移行手続き開始（2026年秋頃）FIP制度への移行完了及び運転開始（2026年冬頃） <p>※時期については進捗状況により前後する場合があります</p>

【志布志発電所（ブルースカイグループ保有）】

所在地	鹿児島県志布志市
発電出力	約 500kW (1 区画当たり低圧 49.5kW)
年間想定発電量	約 744,000kWh (※10 区画)
主な追加設備	蓄電池 (定格容量) 約 2,610kWh (1 区画当たり約 261kWh)
移行スケジュール	<ul style="list-style-type: none">蓄電システム増設などの設置工事開始 (2026 年春頃)FIP 制度への移行手続き開始 (2026 年秋頃)FIP 制度への移行完了及び運転開始 (2026 年冬頃) <p>※時期については進捗状況により前後する場合があります</p>

■ブルースカイエナジーについて

ブルースカイエナジーは、自然エネルギーを未来へつなぐというスローガンをもとに、再エネの主力電源化と、次の世代に繋いでいくための取組みに注力しています。主に大規模開発を伴わない太陽光発電所のリパワリング工事や蓄電所に関する EPC 事業や開発事業を行っています。全国に 24 か所の拠点を有しており、土地の調達から発電所や蓄電所の開発・施工のほか、草刈りや除雪、日常の修繕といった管理業務を担っています。現在は、リパワリングと蓄電所の開発に注力しており、リパワリングは全国 100 か所、150MW 以上の実績があり、蓄電所については 2027 年までに全国 50 か所以上の系統用蓄電所の開発、太陽光発電所併設型蓄電池の開発も進めています。

会社名	ブルースカイエナジー株式会社
所在地	東京都中央区日本橋三丁目 9-1 日本橋三丁目スクエア 2 階
代表者	上原 美樹
設立	2012 年 10 月 1 日
事業内容	太陽光発電所および蓄電所の開発、施工、運用・管理など
公式サイト	https://www.blueskyenergy.co.jp/

■Tensor Energy 株式会社について

会社名：Tensor Energy 株式会社

所在地：福岡県福岡市中央区天神 1-1-1

設立：2021 年 11 月

代表者：堀 菜々、フィルター カルロス ヴィンセント

事業内容：発電システム、蓄電システム、及びその他の分散型エネルギー・システムの

資産運用、制御、並びに電力取引に関するソフトウェアの開発、販売、サービス提供

＜本件に関するお問い合わせ先＞
ブルースカイエナジー株式会社
広報窓口

mail : kouhou@blueskyenergy.co.jp